趣意書

　ご入学おめでとうございます。

　ご存じのとおり、現在の日本の農業を取り巻く状況は高齢化や耕作放棄地の増加など厳しい環境におかれています。このような中、将来の農業担い手として、また関連産業で活躍することを志し農業関連の高等学校に進んだことに感謝と敬意を表します。

　さて、皆さんは入学とともに、日本学校農業クラブ連盟のクラブ員として学習することとなります。

　日本学校農業クラブ連盟（ＦＦＪ：Future　Farmers　of　Japan）は、全国４７都道府県の農業教育を主とする学科で学ぶすべての生徒・教職員を組織して、1950年（昭和25年）「科学性」「社会性」「指導性」の育成を目標に、日本全国の農業クラブの全国組織として結成されました。これらに係る全国大会も毎年各ブロック持ち回りで開催されております。このたび、東北ブロック連盟でお引き受けした令和6年度開催の「第75回日本学校農業クラブ全国大会」は岩手県学校農業クラブ連盟が企画・運営を担当することとなりました。

　ついては、大会の開催に向け日本学校農業クラブ連盟からの開催の補助、大会参加者からの参加料、さらに企業等からの協賛を募り開催経費の確保を目指しますが、これだけでは他県での開催と同程度の内容・質を担保することが困難な状況です。つきましては、出費多端なところではありますが、下記のとおり本大会に向けてご支援をいただきたくご依頼申し上げます。

|  |
| --- |
| 1. 費用：第75回日本学校農業クラブ全国大会　岩手大会　生徒負担金   （岩手県連盟負担金）   1. クラブ員一人あたり￥２，０００（在学時１回のみ、学校徴収金として納入） 2. 対象：岩手県内の農業（関連）高等学校、関連学科   　令和４年度入学生、令和５年度入学生、令和６年度入学生 |

　2011年（平成23年）3月11日、東日本大震災では本県も甚大な被害をうけ震災直後より、全国・世界中の皆様から温かい支援とご協力・励ましをうけ、復興への道を歩んできた本県で開催される今大会では、約1,300名のクラブ員が皆様への感謝とおもてなしの心を持って準備・運営に努めてまいります。

　つきましては、本大会の趣旨をご理解いただき、皆様からのご援助をお願い申し上げます。

令和４年３月

　　　　　　　　　　　　　　　令和３年度全国農業高等学校長協会

　東北支部長　青森県立三本木農業高等学校長　遠　藤　　　剛

　　　　　　　　　　　　　　　　　　理事　岩手県立盛岡農業高等学校長　　畠　山　一　弘

　　　　　　　　　　　　　　　　　　理事　宮城県農業高等学校長　　　　　峯　岸　孝　浩

　　　　　　　　　　　　　　　　　　理事　秋田県立大曲農業高等学校長　　菅　原　和　久

　　　　　　　　　　　　　　　　　　理事　山形県立村山産業高等学校長　　青　柳　晴　雄

　　　　　　　　　　　　　　　　　　理事　福島県立福島明成高等学校長　　安　田　修　久